

《担当者名》○花岡 真佐子(非) [hanaoka@hoku-iryo-u.ac.jp]
明野 伸次 [akeno@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

看護実践とは、看護概念の現実化に向けて看護者が目的意識的に働きかける過程である。本講では、健康問題を抱える対象者に対する看護師の判断-行為過程に焦点をあて、“対象者の生命力の消耗を最小にする”ための看護実践のあり方を探究する。

【学修目標】

1. 健康問題を抱える対象者に関する理解の枠組みを説明できる。
2. 看護実践が捉える生活者の考え方を説明できる。
3. 看護実践の概念に関して自らの考えを表現できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1~2	授業のすすめ方 1. 人間理解の枠組み(1)	ゼミナール形式で文献講読とディスカッションを進める。 『患者中心の看護』をもとにアブデラの経歴と歴史的背景を知る。	花岡 明野
3~4	1. 人間理解の枠組み(2)	1) 『患者中心の看護』の序章、第1章「患者中心の看護p1~19」を読み解く。 2) 『患者中心の看護』の「21の看護の問題」をもとに「人間の理解の枠組み」を検討する。	花岡 明野
5~6	1. 人間理解の枠組み(3)	1) 薄井坦子『科学的な看護実践とは何か(上)』の第2章「看護とは何かp57~96」を読み解く。 2) 「人間を科学的に見るとは...」を検討する。	花岡 明野
7~8	1. 人間理解の枠組み(4)	1) 薄井坦子『科学的な看護実践とは何か(上)』の第4章「看護の原点を問うp127~193」を読み解き、生物体・生活体としての人間を検討する。 2) 下村裕子他『看護が捉える生活者の視点』をもとに「生活者」の概念規定を考える。	花岡 明野
9~10	2. 看護実践の特徴(1)	1) 『ヴァージニア・ヘンダーソン論文集(増補版)』をもとに、ヘンダーソンの経歴と歴史的背景を知る。 2) 『看護の本質』『看護の卓越性』を読み解く。	花岡 明野
11~12	2. 看護実践の特徴(2)	1) 『ベナー看護論』をもとに理論の源泉を検討する。 2) 『ベナー看護論』をもとに「7つの看護実践の領域と31の能力」を検討する。	花岡 明野
13~14	2. 看護実践の特徴(3)	『ベナー看護論』の第11章「看護研究と臨床実践の示唆」を読み解く。	花岡 明野
15	まとめ	関連文献から“対象者の生命力を最小にする”ための看護実践のあり方を考察する。	花岡 明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(50%)、討議への参加(50%)を総合評価する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

F.G.アブデラ/千野静香訳：患者中心の看護、医学書院、1963。
薄井坦子著：科学的な看護実践とは何か(上)、現代社、1988。

下村裕子他：看護が捉える「生活者」の視点 - 対象者理解と行動変容の「かぎ」、看護研究、36(3)、2003 .
V.ヘンダーソン / 小玉香津子編訳：ヴァージニアヘンダーソン論文集、増補版、日本看護協会出版会、1989 .
稲田八重子他訳：看護学翻訳論文集 新版・看護の本質、現代社、1996 .
P.ベナー / 井部俊子監訳：ベナー看護論 初心者から達人へ 新訳版、医学書院、2005 .
Hesook Suzie Kim/上鶴重美監訳：看護学における理論思考の本質、日本看護協会出版会、2003 .
その他、参考文献は随時に提示する。

【学修の準備】

関連する参考文献を熟読し、授業に臨む。